

「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」の取組状況について

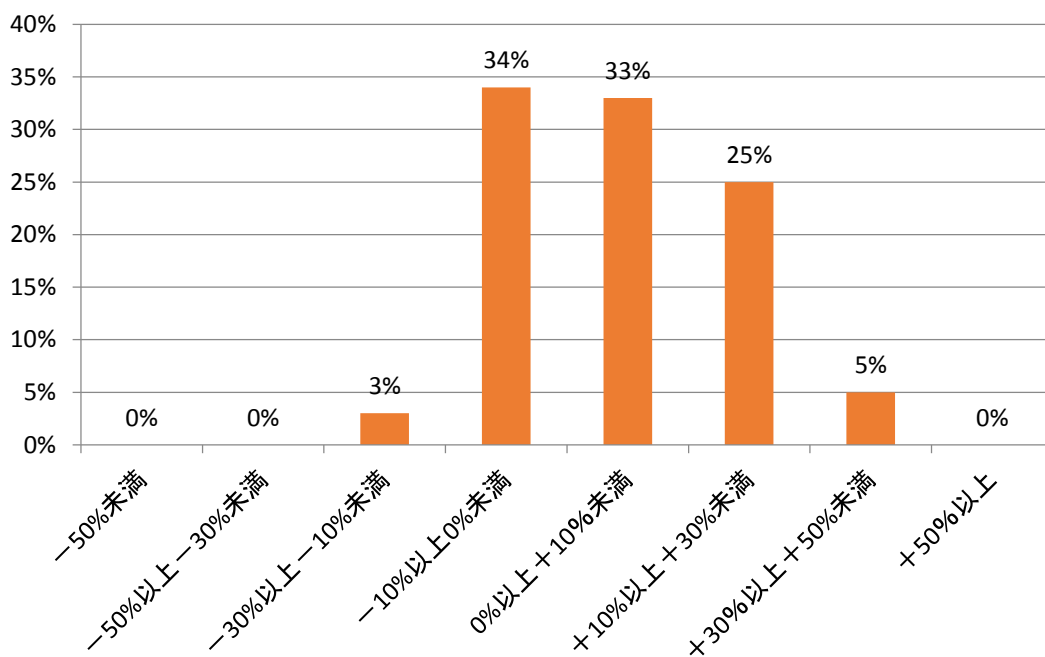
当金庫では、お客さまの資産形成に関する業務において、おもてなしの心でお客さまの最善の利益を追求するため、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を制定し、公表しております。また、その取組状況についても定期的に公表し、見直しをすることとしています。

これを踏まえ、当金庫では「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」の定着状況を確認するための成果指標（KPI）を、以下の通り設定し公表いたします。なお、当金庫では金融庁から発信された「共通KPI」3項目についても公表しております。

1. お客さまの運用成果に関する指標

①投資信託の運用損益別顧客比率【共通KPI】

- ・当金庫で投資信託を保有しているお客さまの運用損益状況を運用損益率区分ごとに表示しています。
運用損益率がプラスのお客さまは、約63%でした。



<データ算出基準>

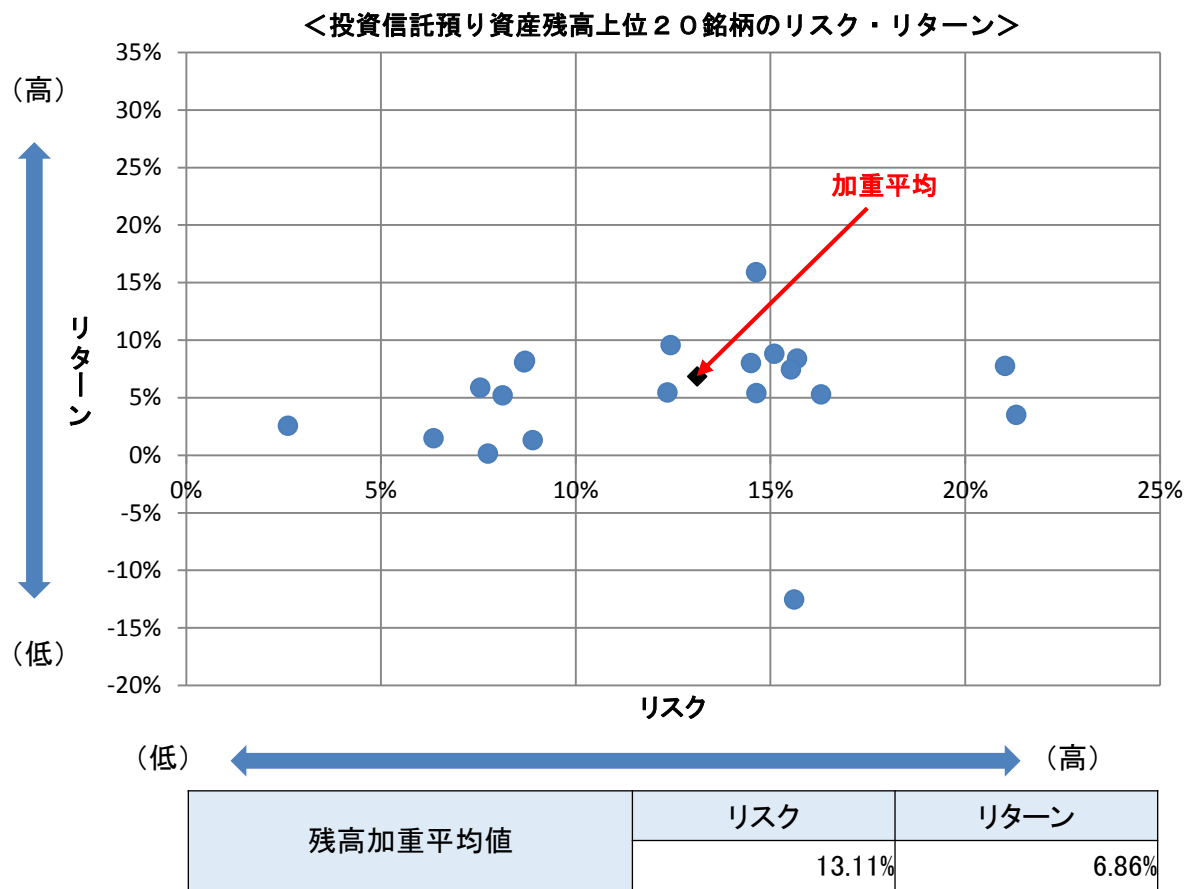
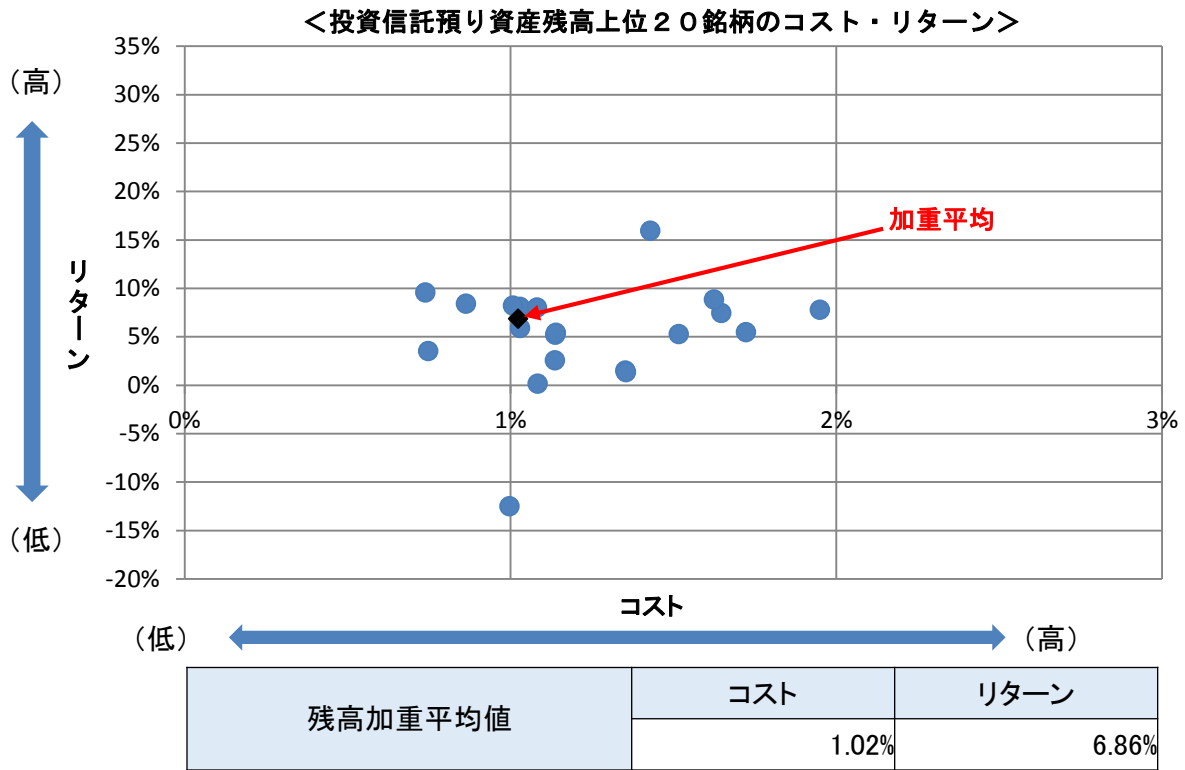
基準日：2019年3月末時点

運用損益：基準日時点の評価金額＋累計受取分配金額（税引後）＋累計売却金額－累計買付金額（販売手数料（税込）を含む）

運用損益率：上記運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出

②投資信託預り資産残高上位 20 銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン【共通 K P I】

・当金庫の投資信託の残高上位 20 銘柄について、コストやリスクに対するリターンを表示しています。
残高上位 20 銘柄の平均コスト 1. 02 %、平均リスク 13. 11 %に対し、平均リターンは 6. 86 %となりました。



共通KPIの内容

①投資信託の運用損益別顧客比率

- 投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。
- 個々のお客さまが保有している投資信託について、購入時以降どのくらいリターンが生じているかを見ることができます。

②投資信託預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン

- 設定後5年以上のうち投資信託の預かり資産残高上位20銘柄について、銘柄ごとおよび預かり資産残高加重平均の「コストとリターン」「リスクとリターン」の関係を示した指標です。
- 中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに提供したかを見ることができます。

◇当金庫の投資信託の残高上位20銘柄は以下の通りです。（2019年3月末時点）

No.	ファンド名	運用会社名
1	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント投信
2	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	しんきんアセットマネジメント投信
3	しんきんグローバル6資産ファンド（毎月決算型）	しんきんアセットマネジメント投信
4	しんきん3資産ファンド（毎月決算型）	しんきんアセットマネジメント投信
5	DIA高格付インカム・オープン（毎月決算コース）	アセットマネジメントOne
6	三井住友・グローバル・リート・オープン	三井住友DSアセットマネジメント
7	ノムラ・ジャパン・オープン	野村アセットマネジメント
8	リバース・トレンド・オープン	日興アセットマネジメント
9	JASDAQオープン	三菱UFJ国際投信
10	しんきん世界アロケーションファンド	しんきんアセットマネジメント投信
11	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	三菱UFJ国際投信
12	しんきんJリートオープン（1年決算型）	しんきんアセットマネジメント投信
13	しんきんアジアETF株式ファンド	しんきんアセットマネジメント投信
14	しんきんアジア債券ファンド（毎月決算型）	しんきんアセットマネジメント投信
15	新光US-REITオープン（年1回決算型）	新光投信株式会社
16	三井住友・ニュー・チャイナ・ファンド	三井住友DSアセットマネジメント
17	しんきん好配当利回り株ファンド	しんきんアセットマネジメント投信
18	トヨタグループ株式ファンド	三井住友DSアセットマネジメント
19	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	しんきんアセットマネジメント投信
20	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド（為替ヘッジ型）	三井住友DSアセットマネジメント

※設定後5年以上

<データ算出基準>

基準日：2019年3月末時点

対象ファンド：投資信託の預り資産残高上位20銘柄（設定後5年以上）

コスト：（販売時手数料÷5）＋信託報酬（年率）

販売時手数料は当金庫において最低販売額での料率（税込）

信託報酬（年率）は、目論見書記載の実質的な信託報酬率の上限（その他の費用・手数料は含まず）

リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）

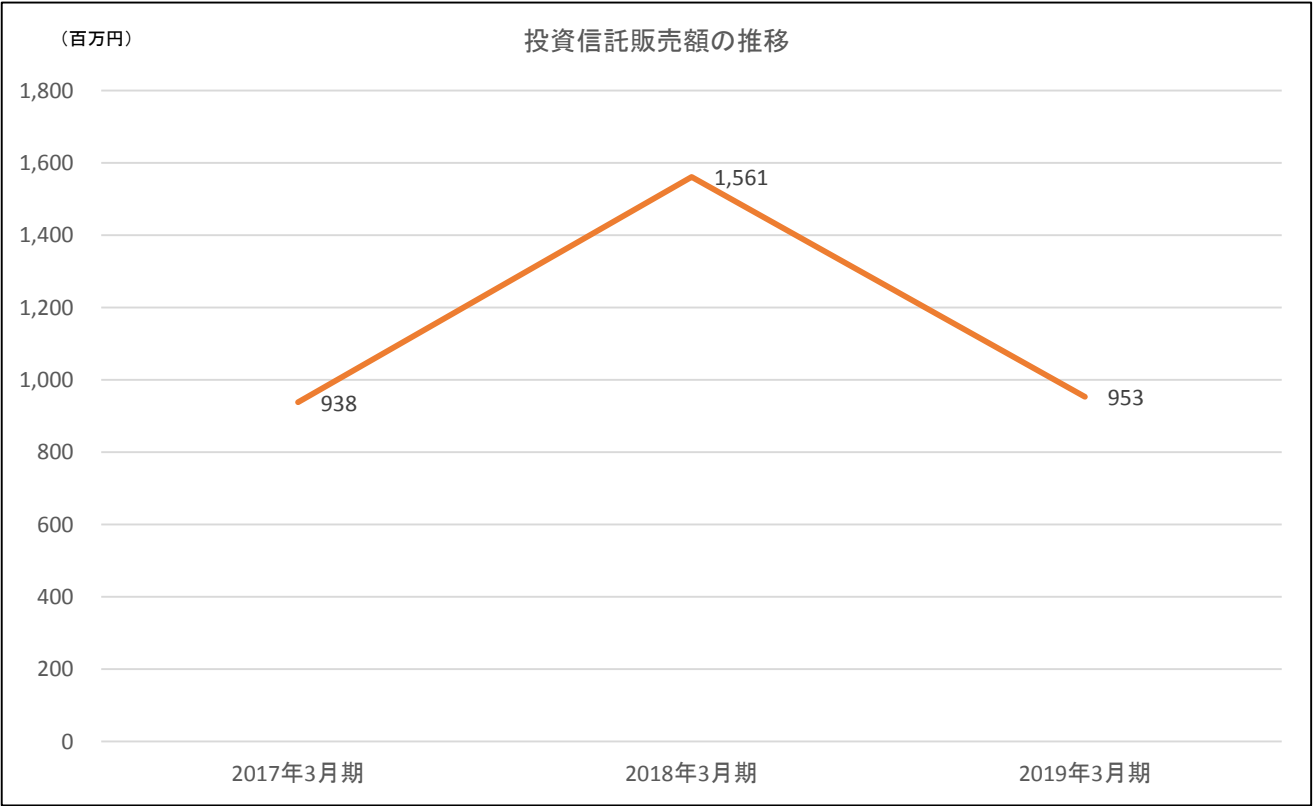
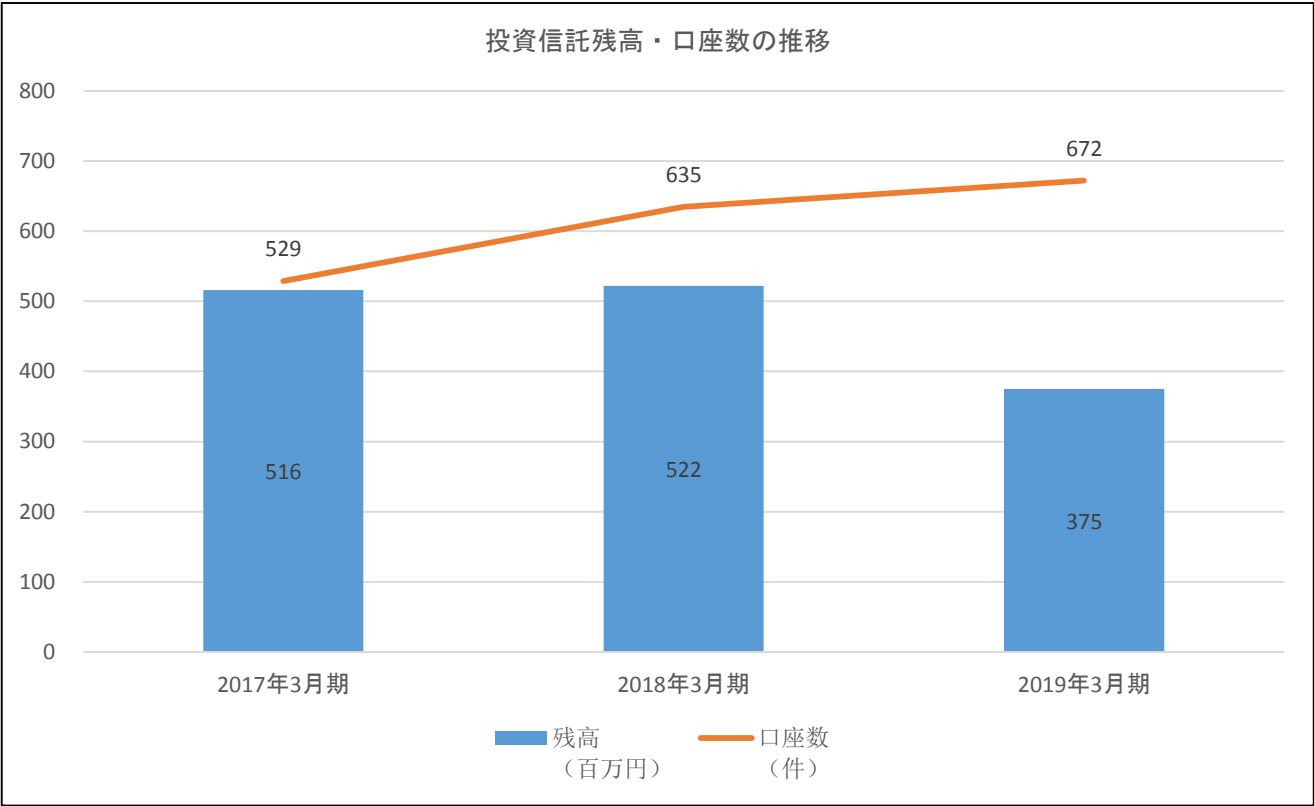
騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

※上記は将来における当金庫取扱いの投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。

2. お客様に寄りそった資産形成・運用の支援

○投資信託残高・口座数の推移

- ・お客様のニーズに適した資産運用に関する情報提供ならびにサービスの提供に努めております。
- ・お客様の利益およびニーズに資する総合的な営業活動を実践しています。



3. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

○投資信託のラインアップ（2019年3月末）

- ・お客様の多様なニーズにお応えし、お客様に適切な商品を選択いただけるように、商品ラインアップの充実に努めております。
 - ・また、商品ラインアップを整備し、既存商品の見直しも図ってまいります。

分類	商品数	うち毎月分配型商品	うち毎月分配型商品以外
国内 債券	0	0	0
株式	8	0	8
REIT	2	1	1
海外 債券	5	4	1
株式	6	1	5
REIT	3	2	1
バランス型	3	2	1
合計	27	10	17

※上記ラインアップには、インターネット専用ファンド（10ファンド）を含みます。

4. お客様ニーズに適した商品提案

○投資信託の販売額における毎月分配型商品と毎月分配型商品以外の販売比率 【図1】

○投資信託の販売額上位商品（上位5銘柄）の推移、その販売額／構成比 【図2】【図3】

- ・お客様の投資目的やリスク許容度、ライフステージや属性等を踏まえ、ニーズに沿った提案に努めております。
 - ・投資信託販売額における毎月分配型商品の販売額比率は5%以下であり、毎月分配型商品以外の販売比率は90%以上の高水準を維持しております。引き続き、お客様ニーズに沿った提案に努めてまいります。

【図1】

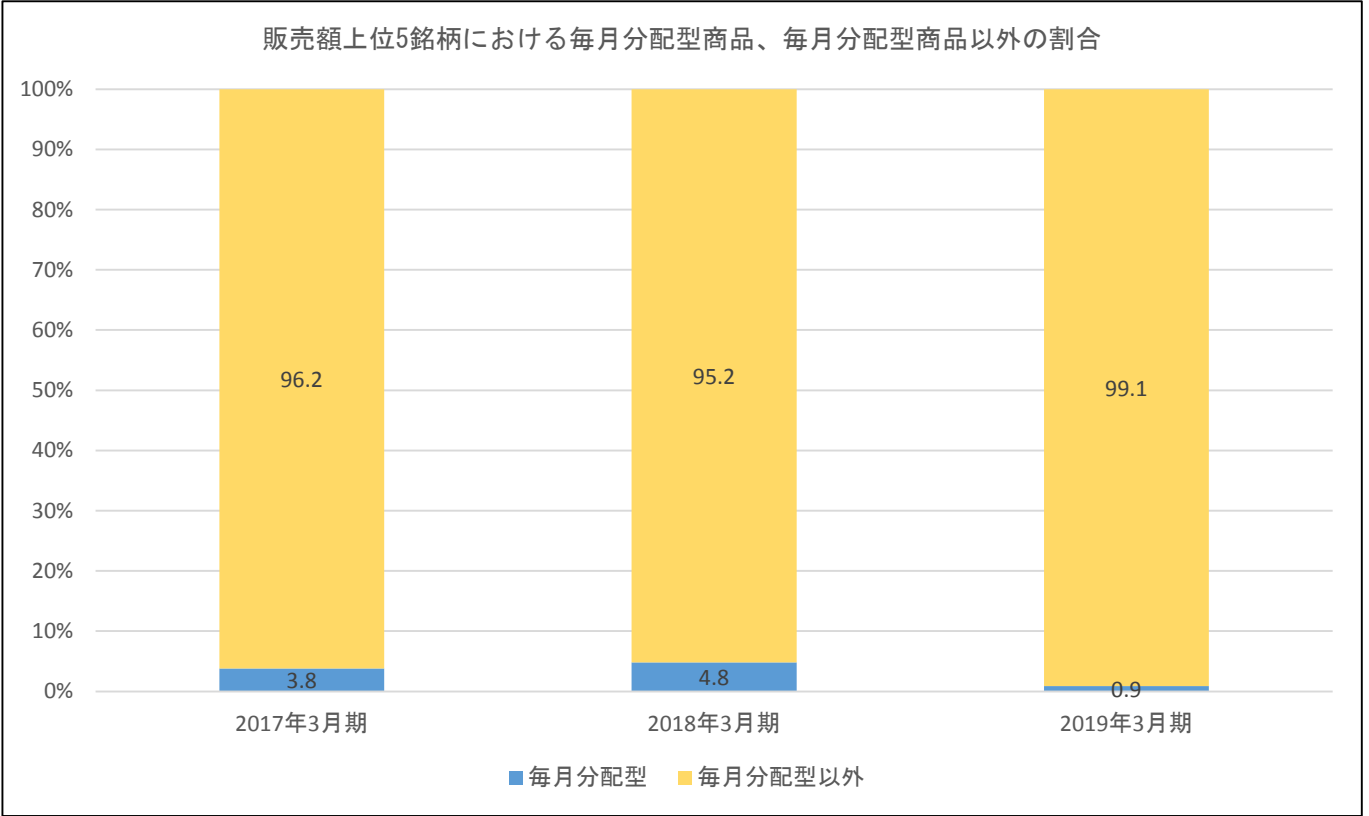
	2017年3月期（販売額：938百万円）		2018年3月期（販売額：1,561百万円）		2019年3月期（販売額：953百万円）	
毎月分配型商品	販売額 （百万円）	45	販売額 （百万円）	83	販売額 （百万円）	16
	構成比 （%）	4.80	構成比 （%）	5.32	構成比 （%）	1.68
毎月分配型商品以外	販売額 （百万円）	893	販売額 （百万円）	1,478	販売額 （百万円）	937
	構成比 （%）	95.20	構成比 （%）	94.68	構成比 （%）	98.32

○投資信託の販売額上位商品（上位５銘柄）の推移、その販売額／構成比

【図２】

2017年3月期（販売額：938百万円）					2018年3月期（販売額：1,561百万円）					2019年3月期（販売額：953百万円）				
商品名	分類	収益分配	販売額 （百万円）	販売比率 （％）	商品名	分類	収益分配	販売額 （百万円）	販売比率 （％）	商品名	分類	収益分配	販売額 （百万円）	販売比率 （％）
しんきんインデックスファンド225	国内株式	年1回	774	82.52	しんきんインデックスファンド225	国内株式	年1回	1,415	90.65	しんきんインデックスファンド225	国内株式	年1回	901	94.54
しんきん225ベア・ファンド	国内株式	年1回	95	10.13	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	国内REIT	年12回	44	2.82	リバース・トレンド・オープン	国内株式	年1回	13	1.36
しんきんJリートオープン（毎月決算型）	国内REIT	年12回	35	3.73	しんきん225ベア・ファンド	国内株式	年1回	37	2.37	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	国内REIT	年12回	8	0.84
しんきん世界アロケーションファンド	バランス型	年1回	14	1.49	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	海外株式	年12回	22	1.41	JASDAQオープン	国内株式	年1回	5	0.52
しんきんJリートオープン（1年決算型）	国内REIT	年1回	2	0.21	三井住友・グローバル・リート・オープン	海外REIT	年12回	8	0.51	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	海外株式	年1回	3	0.31

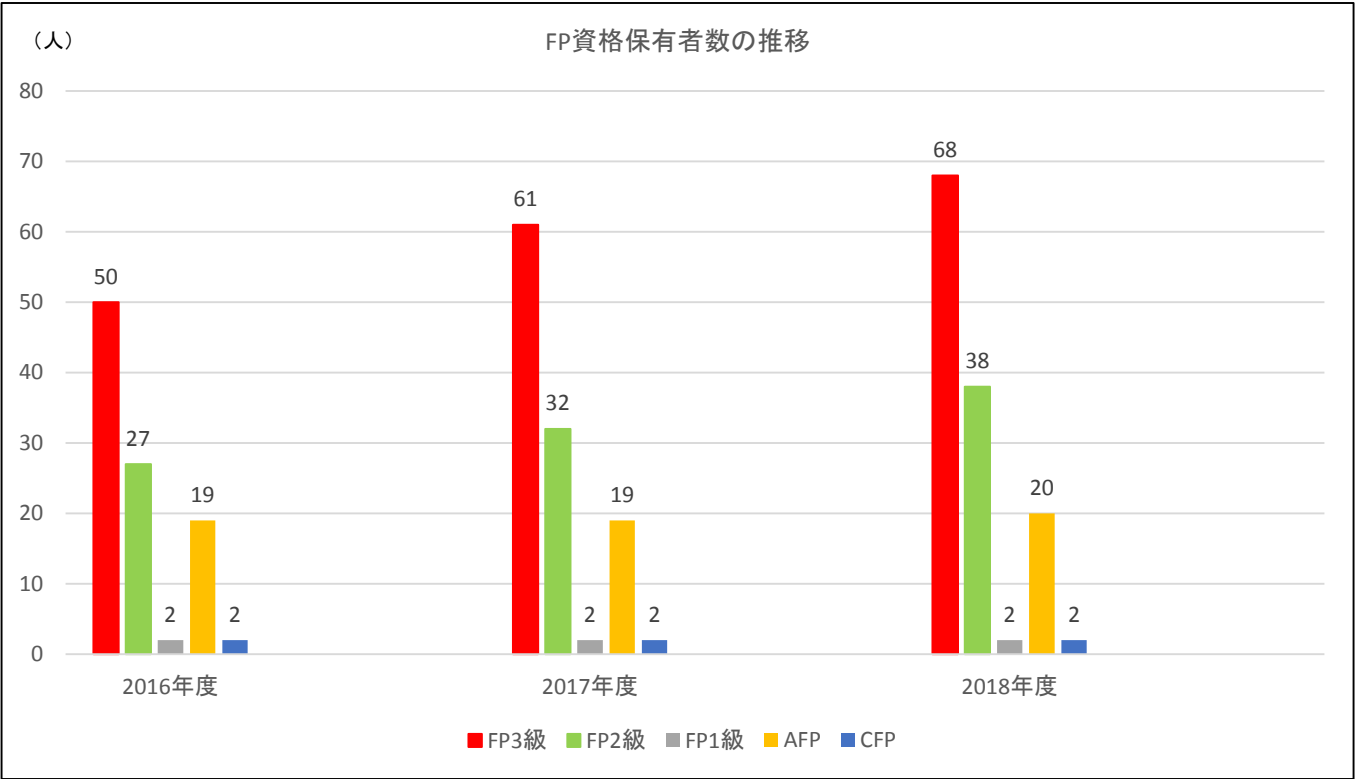
【図３】



5. 人材の育成・確保

○ F P 資格保有者数

- ・ F P（ファイナンシャルプランナー）といった外部専門資格の資格奨励等を通じ、役職員の質的向上およびスキルの強化を図り、お客さまの資産形成に関するコンサルティング能力向上に努めております。



以上